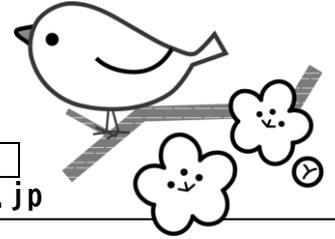




輝く今井っ子



【学校教育目標：人を思いやり、共に高め合う子】

HPアドレス：<https://imai-e.fukuroi.ed.jp>

本当に早いものでいよいよ令和3年度も残り1か月をきりました。昔から2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるように、あっという間に月日は過ぎていきます。一日一日を大切に、現学年のまとめと次学年への準備を確実に行っていきたいと思います。保護者や地域の皆様には、変わらぬ御支援、御協力をお願いいたします。

2月朝会 校長の話（児童に向けて）

2月のことを昔の暦では「如月（きさらぎ）」といいますが、寒さのために更に着物を重ねて着るので「衣更着（きさらぎ）」と言ったのではという説があるそうです。まだまだ寒い2月ですが、暦の上では、冬から春になります。皆さんもよく知っている「節分」は、冬と春の季節を分ける日で、節分の次の日は「立春」です。寒さの中に、少しずつ春を感じることを楽しんでいきたいですね。

ところで、節分の日には、豆まきをするだけでなく、恵方巻を食べる人もいます。今から4年ほど前に、恵方巻の大量廃棄問題がニュースになりました。売れ残った恵方巻がごみとして大量に処分されていたのです。先日、4年生が行った出前Eco教室でも、ごみの問題の一つとして「食品ロス」を教えていただきました。「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまっている食品のことです。恵方巻が、まさに食品ロスになっていたのです。その後、恵方巻の製造・販売業者が、作る量を調整したり、注文を予約制にしたりと対策に取り組み、去年の節分の日には売り切れの店も増え、売れ残りは減ってきています。

日本の食品ロスの量は1年で570万トンで、これは、一人一人が毎日お茶碗1杯のご飯を捨てていることとなります。身近なところでは、残念なことに、袋井市の給食の食べ残しも、増えています。世界中には、食べ物がなく飢餓に苦しむ人達もいます。今井っ子は、「自然の恵みに感謝します。」と言って給食を食べています。とてもすてきな食事のあいさつです。動物の命をいただく、米や野菜など食物を生産している人や調理する人の思いが込められた物をいただいていることに感謝の気持ちを忘れず、これからも食べ物と食べることを大切にしていましましょう。給食だけでなく、家庭の食事と同じですね。

1月の生活のめあては、「自分から進んであいさつをします」でしたが、このごろ、昇降口で朝のあいさつをする時に、目を合わせてあいさつをする子が増えてきたと感じています。今井小を卒業した中学生も登校中にすれ違うと会釈をしたりあいさつをしたりしてくれます。2月の生活のめあては、「自分や友達のいいところを見つけて伝え合います」ですが、進んであいさつができるところは、皆さんのいいところですよ。寒い朝も、皆さんのあいさつで心がほっこりと温かくなります。このように、自分や友達のいいところに気が付いたら、授業の振り返りや帰りの会などで伝えていましましょう。

【3月 生活のめあて】 「人や物に 感謝して 生活します」

1年間のまとめの月です。自分たちが今までお世話になった「ひと・もの・こと」に感謝の気持ちをもつことを意識させていきます。教室、机、ロッカー等を感謝の気持ちを込めてきれいにしたり、3月1日（火）の「感謝の会」で、交通安全の見守りや学習、環境整備等でお世話になった皆さんに感謝の気持ちを伝えたりします。御家庭でも、様々な機会でご話してください。

裏面に「3月の下校時刻」があります。ご覧ください。